

学生スクールボランティア

学科・専攻

関西福祉科学大学

教育学科・子ども発達教育専攻

担当教員

西川 潔、吉岡 尚孝、折口 量祐

連携先

教育学科 担当教員(3名)

プログラム内容

- ① 幼児、児童の保育、学習支援
- ② 幼児、児童の運動遊びのサポート
- ③ 不登校児童にかかわるサポート

成果・考察

大学の授業では、直接、幼児や児童と触れ合うことは不可能である。また、教師の指導法や子どもたちへのかかわりについても、観察することはできない。

しかし、多くの学生がスクールボランティアを通じて、幼稚園、小学校、特別支援学校等の活動に参加することで、実際に子どもたちとかかわり、先生方の指導等を観察したり、学習をサポートしたりすることで、実践的な学びを深めることに繋がった。



関西福祉科学大学
教育学科
西川 潔 准教授

「学生スクールボランティア」の活動を通して、大学の授業では学修できない、教育現場での実践的な学びができているところに大きな意義を見出すことができる。また、教員採用試験の面接において、学生がこの活動を通じた学びや体験を語ることが、より具体的な教育実践としての評価に繋げることができる。

関西福祉科学大学
教育学科 3年 遠山 翔

私は支援学校のスクールボランティアを通して、支援学校の先生がどのような授業運びをしているのかや、児童に対してどのような声かけをしているのかなど、実践的な部分を中心に学ぶことができました。また、実際に多くの児童と接し、たくさんの関わり方を試みる中で、その児童に合った関わり方が見えてきて、ボランティア開始時よりも選択肢が増え、自然に関わることができるようになったように感じます。